

令和5年度 事業報告

I 優秀な建築技術者を選別し、県民が確認、選択する機会を提供する事業

(公益目的事業1)

1. 建築士試験の実施(優秀な建築技術者の選別).....(事務局)

【実務内容】

建築士試験の実施

- (1)試験の会場の手配
- (2)試験の準備
- (3)試験監督
- (4)試験の実施
- (5)合格の発表(ホームページに掲載)

【令和5年度実績】

- | | |
|-----------|---------------------------------------|
| 7月2日(日) | 二級学科試験(琉球大学) 受験者 200名 |
| 7月23日(日) | 一級・木造学科試験(琉球大学) 受験者 計300名(一級299名+木造1) |
| 9月10日(日) | 二級製図試験(琉球大学) 受験者 92名 |
| 10月8日(日) | 一級・木造製図試験(沖縄職業能力開発大学校) 受験者計 一級のみ88名 |
| 12月7日(木) | 二級・木造建築士最終合格者発表 二級41名 |
| 12月25日(月) | 一級建築士最終合格者発表 19名 |

2. 一級建築士登録及び建築士名簿の閲覧.....(事務局)

県民に建築士の情報を提供することを目的として、県内の登録申請者及び閲覧申請者への利便性や円滑な実施を図るため、県内の一級建築士登録窓口の設置及び名簿の無料閲覧を行った。

【登録受付数】 40件+Web15件(新規7+Web6、事項変更4、再交付5、カード型変更2、住所変更18+Web9、死亡届2+Web0) 閲覧 1件(対象者1名) ※構造設計一級建築士新規0件、設備設計一級建築士新規2件

【実務内容】

- (1)一級建築士免許申請の広報及び準備
登録等事務に係わる広報物、申請者用引き、登録申請諸用紙の配布、配信
申請者からの問い合わせ対応
- (2)一級建築士免許登録申請の受付
申請書類の受付及び本人確認等窓口審査
申請書類の審査及び決裁、受付名簿の作成
申請書類の日本建築士連合会への送付(月2回)
- (3)一級建築士免許証明書の交付
免許通知はがきの申請者本人への発送
免許証明書の本人への交付

【閲覧方法】

一般財団法人 建築行政情報センター（ICBA）のデータベース「建築士・事務所登録閲覧システム」にアクセスする専用端末を利用した。

3. 二級・木造建築士登録及び建築士名簿の閲覧.....(事務局)

県民に建築士の情報を与えることを目的として、県内の登録申請者及び閲覧申請者への利便性や円滑な実施を図るため、県内の二級・木造建築士登録窓口の設置及び無料で名簿の閲覧を行った。

【登録受付数】 65 件(新規 37、再交付6、事項変更6、住所変更 15、死亡届1、取消0)
閲覧 0件(対象者0名)

【実務内容】

(1)二級・木造建築士免許申請の広報及び準備

登録等事務に係わる広報物、申請者用手引き、登録申請諸用紙の配布、配信
申請者からの問い合わせ対応

(2)二級・木造建築士免許登録申請の受付

申請書類の受付及び本人確認等窓口審査
申請書類の審査及び決裁、受付名簿の作成
免許証明書(カード)作成資料の日本建築士連合会への送付(月1回)

(3)二級・木造建築士名簿の作成、修正及び閲覧に供する業務

(4)二級・木造建築士免許証明書の交付

免許通知はがきの申請者本人への発送、免許証明書の本人への交付

【閲覧方法】

一般財団法人 建築行政情報センター（ICBA）のデータベース「建築士・事務所登録閲覧システム」にアクセスする専用端末を利用した。

4. 専攻建築士制度業務.....(青年・女性委員会)

専攻建築士制度は、八つの専門分野について、建築士の申請により、(公社)日本建築士会連合会の認定委員等、専門分野の委員の審査を受けて、一定の知識及び技術を持つ者を認定し、認定された建築士を建築士会のホームページにて県民向けに広く公開している。

【実務内容】

(1)専攻建築士制度の普及、広報

県民が必要とする分野の建築士の選択が可能となる同制度の周知を図るため、ホームページ等で参加者を募集した。

(2)専攻建築士登録申請書の審査

専攻建築士審査評議会を設置、専攻建築士審査評議会が、申請者が当該専門分野の一定の知識を有するか否かを確認し、(公社)日本建築士会連合会の認定審査会にて認定される。

(3)専攻建築士の登録

認定した専攻建築士の情報を専攻建築士検索システムに登録し、登録された建築士に登録証、カード、バッジを交付する。

(4)専攻建築士の情報公開

県民に対し、専攻建築士の情報を専攻建築士検索システム(登録簿)で公開している。

【令和5年度実績】

専攻建築士申請受付

申請数1名(専攻領域1) 専攻領域(統括)

令和6年3月の沖縄県の専攻建築士数 12名(領域数 16)

5. 建築士継続能力開発(CPD)制度業務.....(青年・女性委員会)

継続能力開発に努めている建築士の実績を確認し、その情報を県民に提供できる方法として、建築士継続能力開発制度(CPD)を運営した。

【実務内容】

(1)CPD制度の普及、宣伝

(2)CPD制度に参加する建築士の登録

(3)CPD単位が取得できる研修等の認定

(4)CPD制度に参加している建築士のCPD取得単位データの登録

(5)データ登録内容の証明

(6)CPD制度に登録された建築士の情報公開

【実績】

令和5年度 新規登録者数 76名 累計 1,908名 単位取得履修証発行 282件

II 建築技術に関する研修、講習会等を実施する事業 (公益目的事業2)

1. 一級・二級・木造建築士の定期講習の実務.....(事務局)

建築士事務所に所属する一級・二級・木造建築士が3年毎に受講が義務づけられている建築士定期講習を実施した。

【受講料】

一律 12,980円

【実務内容】

(1)講習会企画

(2)会場の確保

(3)講師を依頼

(4)参加者の募集(チラシ、ホームページに掲載)

(5)申込受付、準備

(6)修了考査の監督

【令和5年度実績】

6月21日(水) 浦添産業振興センター・結の街(講師講習) 受講者 82名

11月22日(水) 沖縄産業支援センター(講師講習) 受講者 73名

3月22日(金) アイム・ユニバースてだこホール(DVD講習) 受講者 71名

講師名	講義科目
金城利一（一級建築士）	建築物の建築に関する法令に関する科目（建築基準法・建築士法）
中島親寛（一級建築士）	建築物の建築に関する法令に関する科目（建築基準法・建築士法以外）
池間 守（一級建築士）	設計及び工事監理に関する科目

2. 国際交流事業.....（事業委員会）

【目的】

韓国済州道建築士会との交流として、両国の建築作品コンペティションの入選作品の展示会や入選者等が相互訪問し、建築作品のプレゼンテーションを行う等、両国の建築技術者の技術の向上、人材育成に貢献する事業を行う。

【事業内容】

両国の建築懸賞の入賞者が両国を相互訪問し、入賞作品の展示会を行うとともに設計者によるプレゼンテーション(発表会)を行う。

受入時(沖縄開催)

- (1)展示会場、プレゼンテーション会場の確保
- (2)プレゼンテーション講師の依頼
- (3)参加者の募集
- (4)申込受付、準備
- (5)作品展示会、プレゼンテーションの開催

派遣時(済州開催)

- (1) プレゼンテーション者の派遣
- (2)展示作品の準備、配信
- (3)展示会、プレゼンテーションの記録

【令和5年度実績】

第8回沖縄建築賞の住宅部門、一般建築部門の正賞受賞者を伴い韓国済州道で10月下旬に開催される済州建築文化祭においてプレゼンテーションを行うべく、準備を進めたが、渡航に係るフライト便等がコロナ禍以前の状況には戻っていないことや、円安で費用が嵩むことが明らかになったことから、現地におけるプレゼンテーションを断念し、正賞他入賞作品のデータを済州道建築士会に送り、当該建築文化祭においてパネル展示していただいた。

3. 既存住宅状況調査技術者講習.....（事務局）

平成 28 年6月に宅地建物取引業法が一部改正され、平成 30 年4月から既存住宅の売買時に「既存住宅状況調査」に関する説明が義務付けられた。既存住宅状況調査の実施は、登録機関((公社)日本建築士会連合会等)の講習を終了した建築士のみ認められており、沖縄県建築士会が沖縄における既存住宅状況調査技術者講習を実施する。

【実務内容】

- (1)会場の確保

(2)参加者の募集(会誌、ホームページ、メールマガジン等で募る)

(3)講習会の開催(オンライン講習含む)

(4)報告書の作成

【令和5年度実績】

※月に一度のオンライン学習受講者を募り、更新講習では40名受講(修了)、新規は令和5年4月～令和6年3月までの間に3名が受講(修了)した。

(対象者)建築士

(受講料) Webによるオンライン学習(更新)17,000円

(修了者の認定)講習修了時に国土交通省が監修した「修了考査」を行い、基準点以上に達した受講者には講習修了証明書と既存住宅状況調査技術者カードを(公社)日本建築士会連合会より交付

4. 建築設計競技.....(建築設計競技委員会)

【事業内容】

建築設計技術者の技術の向上を目的とした設計者選定事業として、沖縄県より委託を受けて建築設計競技の支援を行った。

【令和5年度実績】

第12回沖縄県アンダー40設計競技(ティーダフラッグス2023)

募集期間 令和5年10月23日(月)～12月8日(金)

事前応募登録 令和5年10月23日(月)～11月16日(木) 登録受付50件

応募作品39点

審査委員

委員長	伊礼 智	有限会社伊礼智設計室 代表取締役
委員	金城 傑	公益社団法人沖縄県建築士会 会長
委員	武岡 光明	一般社団法人沖縄県建築士事務所協会 会長
委員	伊良波朝義	公益社団法人日本建築家協会沖縄支部 支部長
委員	上原 武	一般社団法人沖縄県設備設計事務所協会 副会長
委員	福島 誠司	沖縄県総合運動公園管理事務所 所長
委員	仲 厚	沖縄県土木建築部 都市公園課 課長
委員	金城 新吾	沖縄県土木建築部 建築都市統括監

作品審査 第一次 令和5年12月22日(金)10時00分～12時00分(沖縄県庁11階 第1・2会議室で開催)

第二次 令和6年1月25日(木)13時30分～17時30分(アイム・ユニバースてだこホール市民交流室にて公開プレゼンテーション&最終審査)

※Zoomによるオンラインライブ配信も実施

入選作品 金 賞&学生賞 No.29 のぞき、つながる
石原卓弥、多城直樹 琉球大学大学院理工学研究科

銀 賞 No.31 森の煙突 松本岐成、山内盛悟 Five Dimension

銅 賞 No.15 ニツイノオオヤネ ～外に開かれた炊事場～
大城 彦樹 久友設計(株)

対象者 県内建築士・学生・沖縄県建築士会会員

募集方法 ホームページによる公募

設計競技応募料 無料

設計競技入選者の選考 県内外で活躍する著名建築家を委員長として、建築設計関係団体の長等で組織された作品審査委員会が入選作品の選考を行う。

第9回沖縄建築賞

募集期間 令和5年6月20日(火)～7月21日(金)

応募作品 住宅部門 15点 一般建築部門9点

審査委員

委員長	古谷 誠章	早稲田大学建築学科 教授
副委員長	小倉 暢之	琉球大学工学部 名誉教授
委員	能勢 裕子	彫刻家
委員	武岡 光明	一般社団法人沖縄県建築士事務所協会 会長
委員	金城 傑	公益社団法人沖縄県建築士会 会長
委員	伊良波朝義	公益社団法人日本建築家協会沖縄支部 支部長
委員	根路銘剛次	(株)根路銘設計 代表取締役
委員	大城 禎人	一級建築士事務所 大城禎人建築設計事務所 代表

作品審査 第一次(書類審査) 審査委員会の意向により省略

第二次(プレゼンテーション&質疑)Zoomウェビナーによるライブ配信併用
8月16日(水) 11時～17時 沖縄建築会館会議室において応募者全員(24作品)のプレゼンテーションと質疑が行われ、審査の結果、各部門の5作品が第三次審査(現地審査)に進んだ。

第三次(第二次通過各部門5作品の現地審査&最終審査)
9月2日(土)～9月3日(日) 現地審査後、沖縄建築会館大会議室において最終審査が行われ、下記の各賞を決定した。(Zoomによるライブ配信併用)

〔住宅部門〕

正賞 「ヨナンロのいえ」
小林進一、菊地彩加 一級建築士事務所コバヤシ 401.Design.room(株)

奨励賞 「具志の二世帯住宅」 仲本昌司 (株)ADeR

〔一般建築部門〕

正賞 「謝敷集落の宿」
仲本兼一郎、岡山泰士、森田修平 (株)一級建築士事務所 STUDIO MONAKA
タイムス住宅新聞社賞 「衣食住創～育む家～」 松田まり子 松田まり子建築設計事務所
奨励賞 「金城次郎館」 濱元 宏、豊崎孟史 濱元宏建築設計事務所+GAB
奨励賞 「中城ひらやすこども園」 平良和礼 (株)渡久山設計

応募資格 沖縄県内に建つ過去5年以内に完成した建築物を対象とし、それを設計した建築士であること。

募集方法 ホームページ、新聞による公募

設計競技応募料 5,000 円 一次審査選考通過者 35,000 円

設計競技入選者の選考 著名な建築家を委員長に一級建築士等で組織された審査委員会が入選作品の選考を行う。

5. 改正建築物省エネ法説明会及び住宅省エネルギー技術講習会の実施.....(調査研究委員会)

【事業内容】

住宅建築に携わる方々を対象に、改正建築物省エネ法の内容とポイント、省エネ基準と省エネ計算方法等についての説明会や住宅省エネルギー技術の講習会を行う。

【実務内容】

- (1)講習会企画
- (2)会場の確保
- (3)参加者の募集(チラシ、ホームページに掲載)
- (4)申込受付、準備

【令和5年度実績】

令和5年度 建築基準法・建築物省エネ法 設計等実務講習会

令和6年1月30日(火) アイム・ユニバースてだこホール 市民交流室 受講者 176 名

(講 師) 国土交通省住宅局建築指導課の担当官

(対 象 者) 住宅の設計・施工に携わる建築士等建築技術者

(募集方法) ホームページに掲載し、メールマガジン等で周知

(受 講 料) 無 料

6. ヘリテージマネージャー養成講習会、スキルアップ講習会・研修会等の実施...(まちづくり委員会)

【事業内容】

循環型社会における建築のあり方を見据え、地域に眠る歴史的建造物の保全・活用を推進することにより、地域固有の風景を回復しつつ誇りのもてる地域づくりに貢献することを目的として、ヘリテージマネージャー(歴史的建造物の保全活用に係る専門家)の育成・活用に取り組む。また、既登録のヘリテージマネージャーのスキルアップのための研修会、講習会、講演会等も行う。

【令和5年度実績】

ヘリテージマネージャーステップアップ講座、他

「沖縄ユニバーサルデザイン公園等建設指針説明講習会」

5月20日(土) 19:00～20:30 沖縄建築会館会議室

「今帰仁村中央公民館浮きコンクリート落とし作業」

11月12日(日) 10:00～15:00 今帰仁中央公民館

「だれもが安心できる公共空間のデザイン～当事者参画を学ぶセミナー～」

11月19日(日) 沖縄県立博物館・美術館 講堂 14時～17時30分

「フランク・ロイド・ライト展」令和6年2月3日(土)～12日(月) プラザハウス 2階

「全国バリアフリー情報公開プロジェクト調査状況見学会」

令和6年2月8日(木) ホテルパームロイヤル那覇 15:00～17:00

「鉄筋コンクリートクラック補修ワークショップ」

令和6年3月3日(日) 10:30～13:30 今帰仁中央公民館

7. 技術者育成事業.....(調査研究委員会)

県外の著名な建築家を招いて講演会(セミナー)を開催するとともに、本県の古民家や省エネ住宅等についての講習を行うことにより、建築士や建築を学ぶ学生等の知識及び技能の維持向上に貢献した。

【実務内容】

- (1)講習会・講演会の企画
- (2)会場の確保
- (3)講師を依頼
- (4)参加者の募集(チラシ、ホームページ等で募る)
- (5)申込受付、準備
- (6)講習会の開催
- (7)報告書の作成

【令和5年度実績】

令和5年度 技術者育成事業(主催:沖縄県土木建築部住宅課 実施:(公社)沖縄県建築士会)

日 時 令和5年 12月 14日(木) 14:00～17:30

会 場 アイム・ユニバースてだこホール小ホール(Zoomウェビナーによるライブ配信併用)

受講者 120名、Web 視聴最大 67名

時 間	内 容	講 師
14:05～14:40	「内在塩分を含む建築物の維持保全に関する研究」	アトリエ・ネロ 主宰 根路銘 安史
14:40～15:20	「沖縄における新たな木造住宅の考え方」	(株)ISSHO 建築設計事務所 代表 漢那 潤
15:30～17:30	建築講演会「半動産建築のゆくえ」 &ディスカッション	吉村靖孝((株)吉村靖孝建築設計事務所代表・早稲田大学教授)、松田まり子(建築士会女性部会長・松田まり子建築設計事務所主宰)

令和5年度 空き家対策に関する説明会 (主催:沖縄県土木建築部住宅課 実施:(公社)沖縄県建築士会)

日 時 令和6年1月 29日(月) 13:30～16:00

会 場 沖縄県土地開発公社 5階 第1・2・3会議室(那覇市旭町 114 番地7)

受講者 市町村空き家関連担当職員 41名、沖縄県建築士会まちづくり委員会委員8名

講 師 高橋康夫氏((公社)群馬県建設技術センターFM室長、(公社)日本建築士会連合会街中(空き家)まちづくり部会長)

8. 地震被災建築物の応急危険度判定体制整備業務.....(青年・女性委員会)

地震被災建築物の応急危険度判定を行う建築技術者(応急危険度判定士)を養成することを目的として、建築士法第22条2項の規定に基づく講習会や判定士による応急危険度判定模擬訓練を実施した。

【実務内容】

- (1)講習会・模擬訓練の企画
- (2)会場の確保
- (3)講師を依頼
- (4)参加者の募集(チラシ、ホームページ等で募る)
- (5)申込受付、準備
- (6)講習会・模擬訓練の開催
- (7)報告書の作成

【令和5年度実績】

主 催:沖縄県土木建築部建築指導課 実施:(公社)沖縄県建築士会

応急危険度判定講習会

令和5年4月13日(水) 14:30～16:00 一級建築士免許証明書交付式における講習会

会 場:沖縄産業支援センター1階ホール 受講者8名

講 師:中島親寛氏((株)大城組 取締役・一級建築士)

令和5年9月4日(月) 14:00～16:30 会 場:沖縄産業支援センター1階ホール 受講者64名

講 師:中島親寛氏((株)大城組 取締役・一級建築士)

令和6年3月7日(木) 14:30～16:00 二級建築士免許証明書交付式における講習会

会 場:沖縄県立博物館・美術館 講座室 受講者21名

講 師:中島親寛氏((株)大城組 取締役・一級建築士)

模擬訓練

令和6年2月15日(木) 13:30～15:15 県営砂辺団地8号棟 受講者21名

講師:中島親寛氏((株)大城組 取締役部長・一級建築士)

コーディネーター養成講習会

令和5年11月6日(月) 沖縄産業支援センター3階中ホール 受講者18名

講師:中島親寛氏((株)大城組 取締役・一級建築士)

Ⅲ 地域貢献活動事業 (公益目的事業3)..... (青年・女性委員会)

(1)地域貢献活動

【事業内容】

建築士会の本部及び各支部における「建築士の日」建築無料相談会や小学生を対象とした折紙建築教室、構造クラフト教室や工業高校、専門学校の建築系学科生徒に対する進路講話等地域実践・貢献活動を行った。

【令和5年度実績】

7月1日(土) 建築士の日記念事業(福祉まちづくりセミナー「高齢期に備えた住まい～健康寿命を延ばす～」(うるま支部/うるま市生涯学習・文化振興センターゆらてく)

7月7日(金)～8日(土) 福祉機器展・建築相談窓口(まちづくり委員会/県総合福祉センター)

8月6日(日) 建築士の日記念事業(建築お悩み相談会&夏休み工作おうちボックス他)(南部・島尻支部合同/サンエーしおぎシティ)

8月17日(木)~18日(金) 建築士の日記念事業「建築相談会&模型・パネル展」(浦添・西原支部)

9月9日(土) 建築士の日記念事業(相談会・首里城女官居室木材と破損瓦のワークショップ)(那覇5支部/サンエー那覇メインプレイス)

10月24日(火) 職業人講話(青年・女性委員会/南風原町立南風原中学校)

令和6年2月16日(金) 構造クラフト&折り紙建築教室(宜野湾支部/はごろも小学校)

IV 建築書籍等の販売事業 (収益事業1) (事務局)

建築士の業務、建築技術等に関し、建築士の社会的責任を果たすために必要な書籍等の販売を行った。

【令和5年度販売実績】 3,654,130 円 【仕入】 3,105,692 円

V 沖縄建築会館管理運営事業 (収益事業2) (事務局)

沖縄建築会館の賃貸事務所、貸会議室の運営

【令和5年度実績】

収入 663,396 円 経常費用 865,603 円 収支 -202,207 円

VI 会員の福利、相互理解と親善を増進する事業 (その他事業) (事業委員会)

会員の福利厚生、親善を増進する事業を行った。

【令和5年度実績】

4月6日(木) すーじぐあー散策と意見交換会(首里支部) 参加者 14 名

5月19日(金) 「オール電化勉強会」及び「かりーるーふ説明会」(北部支部・沖縄電力(株))

5月20日(土) KI HOUSE 完成見学会(島尻・南部支部共催) 参加者 117 名

7月8日(金) 島建築(株)住宅見学会と意見交換会(首里支部)

8月18日(金) 首里染織館suikara見学会(首里支部)

9月13日(水) 南部・島尻支部合同勉強会2023 in LIXIL 参加者 17 名

10月17日(火) 建築士会親睦ゴルフ大会 パームヒルズゴルフリゾート 参加者 21 組 83 名

10月20日(金) 会員親睦ボウリング大会(宜野湾支部) 参加者 24 名

12月23日(土) 建築見学交流会 in KI HOUSE“名建築で朝食を”(青年・女性委員会)

2月17日(土) 建築士会親睦ボウリング大会 サラダボウル 参加者 26 組 104 名

3月23日(土) ぶらり街歩き 牧志公設市場周り編(那覇西支部)